

広報や人材育成など多様なサポートを受けて 伝統ある京七宝を次代へと 守り継ぐべく、奮闘しています。



京七宝の魅力を広めるために。
「京七宝は長い歴史を持ち、世界にも知られた伝統工芸。しかし近年衰退しつつあり、今私たちが歯止めをかけなければという危機感に駆られています」と語る野村ひろみさん。京七宝を製造販売するヒロミ・アートの経営者として自ら商品作りに携わり、京七宝協同組合の理事長も務めるなど、業界の活性化に奔走する日々だ。京七宝の認知度を高めたいという思いのもと、一昨年4月には観



洛西支部 経営支援員 野村 ひろみ
有限会社ヒロミ・アート

有限会社ヒロミ・アート

京都市西京区嵐山朝月町20-8
TEL 075-864-3631
事業内容 / 京七宝の製造・販売
【東山店】販売・七宝体験 京都市東山区東大路松原上る4丁目毘沙門町38

光客の往来する東山に専門店をオープン。葛谷支援員との出会いは、ちょうどその年の3月だった。「当時私は広報に所属していて、会員訪問で訪れたのが最初。その後、経営支援員として担当させていただくこと」と葛谷支援員が運命的な出会いを打ち明ける。広報担当での経験を生かしたプレスリリースをはじめ、補助金を活用したパンフレットの制作、デイス

新店舗への多彩な提案。

技術継承の基盤づくりを。

「私たちの課題は、こうした次世代の人たちの暮らしが成り立つような商品、仕組みをつくっていくこと。そのためには、引き続きサポートいただき、なんとか自力で頑張れるよう結果を出して、これまでのご支援にこたえていきたい」と、真摯に語る野村さん。その努力の甲斐あって、京七宝は京都府の京もの指定工芸品に続き、京都市の伝統産業に追加指定されることになった。熱い思いを胸に東奔西走する野村さんとともに、葛谷支援員も走り続ける。

「レイや経営の専門家によるアドバイスなど、東山店が早く軌道に乗るような支援を行った。本格的に取り組み始めた七宝体験事業も、京都市観光協会への紹介をきっかけに、夏・冬と体験キャンペーンに採用された。「きめ細かにご提案いただき」「ここまでしてもらえるの?」と嬉しい驚きの連続。あらためて京商さんの活動を知ることができました(笑)」。

また、伝統産業の悩みである後継者不足への対策にも、京都府地域ジョブ・カードセンターを通じて雇用助成金を活用し、店を任せられる人材の育成に努めている。

担当支援員



私が担当いたしました /
京都商工会議所
中小企業経営支援センター
洛西支部 主任
経営支援員
葛谷 朋美

伝統産業の継続的な支援に、これからも尽力したい。

経営支援員としては2年目で、まだまだ右往左往の日々です。支援先の課題には、いつも持てる知識と情報を総動員して、より確かな支援につながるよう知恵を絞ってご提案するようにしています。特にヒロミ・アートさんは以前からのおつき

あいということもあり、ともに悩み、勉強しながらここまで来ました。常に前向きで凛とした美しさを持つ野村さんは、女性として私もこうありたいと尊敬する存在です。伝統産業の活性化は、私どもの目標のひとつでもあり、大きな使命感を持って臨んでいます。